

特集:

- ・ ストレージ歴史博物館
- ・ HDD/SSD/Mobile消去
- ・ 緊急モバイル充電器
- ・ 緊急避難用ライト
- ・ ウェッピーとは？

発行:

株式会社 磁気研究所
東京都千代田区神田
佐久間町 1-17

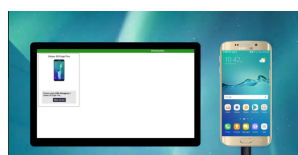
ストレージ歴史博物館に製品寄贈

中国深圳のJiangbolong Zhongshan Storage Industrial Park内に世界初のストレージ歴史博物館(Jiangbolong Storage Museum)が4月27日オープンしました。ストレージ歴史博物館は、約5,000平方メートルの展示面積を持ち3つのテーマ展示ホール、講堂、そして小さな展示ホールがあります。当社は、古くから所有していたストレージデバイスを本博物館に寄贈、世界の有名メディアメーカーと同じ展示フロアにて製品の展示を行っております。

秋葉原の本社ショールームには、まだ多数のレガシーハードウェアとストレージデバイスが保管、展示されています。コンピュータとストレージデバイスの歴史にご興味がある方は、お気軽にお立ち寄りください。

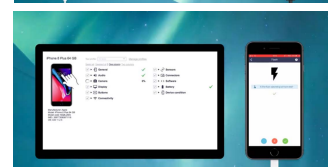
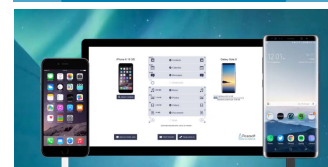


HDD/SSD/Mobileデータの完全消去



OSの入れ替え、古くなった機器の破棄、転売時にハードディスク、SSD、スマートフォンのデータ消去は、機密データの漏えいを防ぐために非常に重要です。これまでコンピュータとモバイルデバイス両方を完全に消去できるソリューションは限られており尚且つ複数台の処理を行うにはネットワーク経由で作業をする必要がありました。

当社は、フィンランド企業との提携により簡単に各種デバイスを安全、完全に消去できるソリューションをご提供します。モバイルデバイスの場合、ハードウェアの状態を解析してからデータの消去とレポートを作成することが可能です。最大256デバイスを同時に消去することもできます。リースアップ機器の大量消去、モバイルデバイスの買い取り、販売。顧客データの保存されたタブレット機器の入れ替え時にご利用ください。またモバイルデバイスのデータ移行を簡単に行えるソリューションも現在準備中です。



RESQ BATTERY



緊急災害用モバイルバッテリー

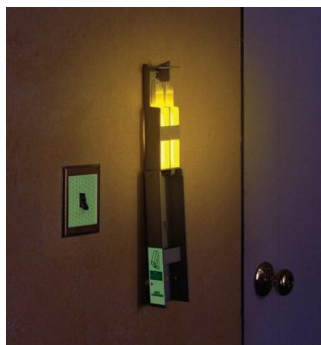
緊急、災害、停電時のスマートフォンバッテリー切れは、非常に深刻な問題です。バッテリーが無くなりそうな時にとっても役に立つ充電済み、超小型使い捨てモバイルバッテリー「レスキューバッテリー」を防災グッズとして近日販売開始します。本体にはリチウム1次電池が内蔵されており最大6時間の通話が可能です。(1800mAh)製品の保管期間は、最大5年間なので防災グッズに最適なモバイルバッテリーです。

ハイキング、キャンプ、旅行、ドライブ、サイクリング等、レジャーの際に携帯していれば充電の不安から解放され楽しい時間を過ごすことが可能です。使い捨てですが本体にオン/オフスイッチがあるので充電を途中で中断することもできます。サポートしている端子はマイクロUSBですがアダプターを使用すれば各種モバイルフォンでも使用可能です。

レスキューバッテリーは、自然災害や緊急事態に必要なプリチャージモバイルバッテリーです。

自然災害は、いつ起こるか予測ができません。カバン、バックパックに入れてあればいざという時に必ず役に立つ製品です。

CYALUME TECHNOLOGIES

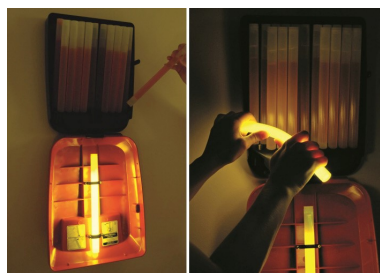


緊急避難用ライト SEEシステム、ライトステーション モデル20

緊急避難用ライトSEEシステムのボックスを開けると、2本の15cm SnapLightスティックが自動的に作動し、2時間発光します。ご家庭、小規模オフィス、病室等に最適な製品です。保存期間：5年間

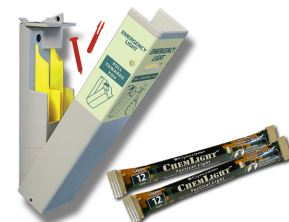
すべてのホテル専門家は、顧客の安全と快適さを心配しています。Cyalumeライトスティックは、人が暗闇の中で自分の道を見つけることを可能にするように設計された緊急照明で、偶発的なスリップや転倒を防ぐことができます。

スティックが起動された時、または何らかの災害時に光が必要な時に十分な光源を提供します。保存期間：5年間 発光時間：4時間



ライトステーション モデル20は、ホテル等で顧客を避難させるための非常用照明ソリューションです。ボックス内には、20本のスナップライトが格納されています。

ハイアットやインターコンチネンタル、マリオット、シェラトン、ロウズホテルグループ、その他多くの有名ホテルチェーンで既に使用されているこの照明は、使いやすく、停電や避難のために



SEEシステム

ライトステーション モデル20

webp(ウェッピー)

webp

WebPは、Googleによって開発されたJPEG、PNGと同じような画像形式です。拡張子「WebP」もしくは「webp」です。WebPファイルは、PNG画像と比べてサイズがほぼ25%小さく、JPEGファイルの場合と比べて30%以上小さくなりますが、画像の品質には影響しません。

最近WEBサイトでWebPファイルが使用されることが多くなっています。WEBページから画像をダウンロードしても通常のアプリからWebP拡張子のファイルを開くことはできません。Windowsフォトビューアーで表示するにはWebp用のコーデックをダウンロード

してインストールする必要があります。ファイルをPNGのような別ファイルに保存したい場合は、Google Chromeを開き、Webストアからプラグインをダウンロードすることでブラウザから別ファイルとして保存することができます。

<https://chrome.google.com/webstore/category/extensions>